



TITLE:

京大広報 号外

AUTHOR(S):

京都大学総務部広報課

---

CITATION:

京都大学総務部広報課. 京大広報 号外. 京大広報 2009, 0904n: 2895-2904

ISSUE DATE:

2009-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196440>

RIGHT:



# 京大広報

号外

2009.4

## 目次

### 〈入学式〉

- 学部入学式における総長のことば……………2896  
大学院入学式における総長のことば……………2898

### 〈大学の動き〉

- 平成21年度学部入学式……………2900  
平成21年度大学院入学式……………2901  
平成21年度入学者選抜学力試験(第2次学力検査)  
の結果……………2903  
名誉教授称号授与式……………2904



平成21年度 入学式



会場の「みやこめっせ」

京都大学総務部広報課

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

## 入学式

## 学部入学式における総長のことば

平成21年4月7日

総長 松 本 紘

大きな可能性に瞳を輝かせ、この場に臨まれた3,006名の皆さん、京都大学にご入学おめでとうございます。ご来賓の井村裕夫元総長、尾池和夫前総長、名誉教授、列席の副学長、各学部長とともに、今日の佳き日をお祝いしたいと思います。京都大学に入学するまでに、皆さんは、様々な長く厳しい受験の道を辿ってこられたことと思います。敬意を表したいと思います。また、これまで皆さんを支えてこられたご家族や関係者の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

私は、昨年10月1日、京都大学第25代総長に就任いたしました。皆さんは、私が総長となって初めてお迎えする学部入学生です。今年、入学式会場をこれまでの吉田キャンパス内の総合体育館から、ここ平安神宮前の「みやこめっせ」に移しました。今回がここでの初めての入学式となります。

さて、入学された皆さんに第一に申し上げたいことは、本学の教育と研究の理念です。本学を受験されるにあたり、大学が定めている理念をすでに読まれていると思いますが、本学の理念は、「京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多元的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める」となっています。この理念の根底にあるものの一つは、「自主自律」の精神であり、それは、本学の学生諸君には、一人の成人として自らに責任を持ち、自ら主体的に勉強と研究を行ってほしいということです。

本学は、「自由の学風を持つ」と社会から言われることが多いのですが、そのきっかけの一つは木下廣次初代総長の言葉にあります。

今から遡ること112年前の1897年9月13日、本学初の入学式にあたる入学宣誓式において、木下先生は、「諸君は既に後見を脱したる者として吾人は諸君を遇する也。因て平素の事は細大注入の主義に依らず自得自発を誘導することを務めんと欲す」との教育方針を示されました。京都大学では、学生を独



立した一人前の大人として扱い、学生諸君は自主的に責任を持ち、自ら発し、主体的に学習や研究を行ってほしいと希望したのです。やがて、この自由尊重の精神が京都大学の伝統となりました。

言うまでもないことかもしれませんが、皆さんにはくれぐれもこの「自由」を誤解しないようにしてほしいと思います。自由は、勝手気ままで無責任な態度や行動を意味するものではありません。私の理解する自由というのは、自分自身がいろいろな発想をして、自分で自分を大切に、個人が光ることです。また個人が組織に縛られずに自由な発想で行動しつつも、常に社会や周辺の人々を思いやり、責任ある態度を貫くことです。

京都大学の特色は、そうした諸先輩が数多くいて、それらの諸先輩が学術界・経済界・政界・文化界など多方面で活躍し、独創的で大きな仕事や業績を残されてきたことにほかなりません。京都大学にいるすべての人に個性があって、自己を確立していて、すばらしい人たちの集団にいるという自覚をすること、このことはとても大事なことです。己の中にある自らに恃むことができるよう、自らを鍛えるという「自鍛自恃」という基本的な考え方も身につけてほしいと思います。

これから大学での学びが始まりますが、それは高校までのものとは大きく異なり、それに戸惑うこともあるかと思います。これまでの学びには、常に答えがありました。しかし、大学で学ぶ学問には、答えは一つではありません。答えがわからないことが多く、それをどのように解いていくか、その方法論を学ぶことが必要です。そのためには、受け身の姿



勢のままでは、京都大学での学問は成り立たないことをまず申し上げなければなりません。皆さんは、いずれ日本社会のみならず世界のリーダーとして様々な分野で活躍していくことになると思います。そのためには、自らが専攻する学問分野の基礎と応用知識や技術を身につけるだけでなく、一見関係のないように見える他の幅広い素養や周辺知識を貪欲に獲得し、それをもとに多元的に判断し、物事の本質を見抜く力量を備えてほしいと願います。

チャレンジする対象をどのようにとらえ、定式化し、解いていくかという、真の思考が求められるのです。手がかりとしては、様々な学問分野で編み出されてきた方法論を学ぶことが有効な手段となります。

京都大学における学びの機会、真理探究の道を自ら進む者には、あまねく開かれています。しかし、そこには、ときとして、濃密で激しい考え方のやりとりが必要となることもあります。

決してあきらめず、闊達な対話と相手を尊重し、自らを重んじるよう心がけてください。

教授陣をはじめとする教員は、未知のものを学ぼうとする者に対して、同じ道を歩む先達として真剣に向き合い、必要なそして多様なカリキュラムを用意しています。

これこそが京都大学の伝統的な教育と研究のやり方です。その成果として、1949年、日本で初めてのノーベル賞を受賞された湯川秀樹先生や朝永振一郎先生をはじめ、昨年物理学賞を受賞された益川敏英先生・小林 誠先生や、一昨年 iPS 細胞を世界に先駆けて作り出した山中伸弥先生の研究などが結実することになったのです。

これらのよく知られた研究成果以外にも、とても数え切れないほど多数存在する本学の世界最高水準の研究は、既成概念にとらわれない自由活達な議論、そして真摯な学問追究の姿勢から生まれました。本学は10の学部、質の高い17の大学院研究科と専門職大学院、加えて全国で最も数と多様性を誇る13の研究機関も擁する日本最大級の総合大学であり、自ら望めば他分野の知識獲得を容易に行いうる環境にあります。

さらに、全学共通教育では1回生を対象としたポケットゼミナール(通称ポケゼミ)と呼ばれるユニークな少人数クラスなどを通じて、これら世界の最先端を走る研究者に直接接する機会にも恵まれていま

す。

最近の社会問題には、グローバルな金融危機に端を発する経済不況、資本主義の在り方、所得格差などが顕著化しています。人権の保護や多様な視点による共同参画社会の実現なども、最重要課題として取り組んでいく必要があります。また、地球環境問題では、生命の起源の探究、安全な医学的応用、新物質や材料の探査、新エネルギー開発、地球環境の機能保全から宇宙開発まで、難問、課題が山積しています。

今、まさに人類にとって地球が有限に見える段階になり、人間自身の生存が問われる時代に皆さんは直面することになります。まさに学際的かつ俯瞰的に物事を考える「生存学」が問われはじめています。

私は、国際会議などで、海外の研究者と長年交流してきましたが、世界的な研究成果をあげている研究者の多くが、自らの研究とは全く異なる分野の学識も豊かで、人間としてとても魅力的なことに驚かされてきました。理系の人でも哲学や法学や文学、歴史といった文系分野にも明るく、文系の人でも、工学や医学や理学、農学といった理系の学問に強い興味を持っています。

皆さんにも、そういう国際的知識人としての教養を身につけると同時に、専門家としての知識のみにとらわれず、一段高い視点から今後の世界を見る能力を得てほしいと思います。そのためには、皆さんが経験するこれからの大学生活では、読書にも多くの時間を捧げることを総長として希望します。それも多読によって視野を広げ、精読によって深く思索し、自らを磨き、複雑で多元的な問題に対処できるようになってほしいのです。インターネットで安易に情報にアクセスするのではなく、理系文系にとらわれることなく、読書によって頭を耕し、時空を超えてほしいと思います。読書によっていにしえの賢者に相まみえ、世界中の先達を友としてください。そのためには、語学もまた大事であり、この機会にぜひ様々な外国語の習得にも努力してほしいと思います。真の国際人にはどうしても国際語は必要とされます。若いときにチャレンジした外国語は、たとえ忘れることがあっても、再度必要になったときにその語学の勉強を再開する上で非常に役立ちます。

現在、大学には約3,000名の教員、2,500名の職員、22,000名の学生がいます。京都大学在学中に出会い、そこで生まれる人間関係は、将来きっと皆さんの人

生を彩り深いものにすることでしょう。

勉強や研究で出会う人のみならず、クラブ活動やその他の出会いを大切に、自ら進んで人間関係の綾を織りなしてほしいと思います。我々教職員は、伝統を基礎とし、革新と創造の魅力・活力・実力ある京都大学を目指して、大学の教育・研究環境を充実させていきます。本日も臨席のご家族や関係者の皆様には、引き続き本学への支援や応援を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さんには、何よりも自らの健康を大切に、体と心を鍛え、学業に励ん

でいただきたいと思います。そして、新たな友人と出会い、語らい、課外活動やボランティア活動等様々な可能性に目を向け、力一杯活躍されんことを願っています。

「初め有らざるなし、克く終わり有る<sup>すくな</sup>鮮し」という言葉があります。皆さんが入学に際し、それぞれの思いで志を新たにしておられると思いますが、どうかそのフレッシュな意気込みを忘れることなく、ぜひ有終の美を飾ってくださることを祈念し、私の入学式の式辞とさせていただきます。

京都大学へのご入学、おめでとうございます。

## 大学院入学式における総長のことば

平成21年4月7日

総長 松 本 紘

満開の桜の中、京都大学大学院に入学される修士課程2,250名、専門職学位課程352名、博士(後期)課程903名の皆さん、おめでとうございます。ご来賓の尾池和夫前総長、名誉教授、列席の副学長、研究科長、学舎長、教育部長、研究所長とともに、今日の佳き日をお祝いしたいと思います。今年は、入学式会場も、これまでの吉田キャンパス内の総合体育館から、ここ平安神宮前の「みやこめっせ」に移して、今回が初めての入学式となります。また、これまで皆さんを支えてこられたご家族や関係者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。

大学院の修士課程では、これまでの学士課程での蓄積の上に、さらに基礎的な知識を補い、研究のために必要な技術を身につけるなど、専門家として独り立ちできるよう体系的な教育が行われます。

専門職学位課程では、高度の専門性を必要とする職業などに従事する人材を育てるために理論と実務との橋渡しが重要な課題とされており、新たな教育課程の中で学修を重ね、国際的にも活躍する人材として巣立つことが期待されています。

博士(後期)課程では、修士課程までに習得した知



識や技量を基礎に、新たに自ら研究計画を構想し、研究を遂行することが中心となります。そして、研究の成果として論文をまとめ、学術誌などによりその成果を国際的に発表していくことになります。

大学院で学ぶということについて、一つアドバイスをしておきたいと思います。大学院では、各自が「自らの研究テーマ」を持ち、それを育てる必要があります。これは、具体的には「問い」の発見ということになります。研究において最も苦しいことは、実はこの部分かもしれません。そして、この「自分の研究テーマ」をどのような観点から、どのように攻略するかを寝ても覚めても考え続けることが、大学院の日々の生活の基本となります。

攻略のためには、必要となる知識を獲得していくことも必要なことなのですが、学問という未知の世界の開拓においては、的をしほりすぎる学習には限界があるように思えます。それは一見無駄がなく効

率的に見えるかもしれませんが、専門の枠を超えるような大きな独創の芽を摘むことになるかもしれないからです。自らの専攻する分野のみならず、理系文系を問わず、他の分野の学識を豊かにすることによって、専門分野における既存の枠組みではとらえられなかった視角が与えられ、独創的な攻略法にたどり着く可能性を忘れないでください。そして、皆さんの後に道ができるような独創的な研究をぜひ実現してください。

私はいつも「学問とは真実をめぐる人間関係である」と思っています。人間は、個体では生きていけない弱い生物です。人類は進化の偶然で生まれました。その人間は社会を作り、共生し、知識を積み上げ、常に新しいことに挑戦することで、地球上を覆うほど繁栄することになりました。それは単純化してみると、人間関係による繁栄と言ってよいのではないかと考えています。

これまでの人生の重要な位置に、私には職業としての学問がありました。学問をやってきて人間関係を勉強したのではなく、人間関係をもとにして学問をさせてもらったと私は思っています。非常に頭がよくて優秀な人が、なぜか学問がうまくいかないことがあります。それは人間関係がうまくいかなかったのかもしれないと私は推測するわけです。例えば、私たちは資料を調べるにも、データをとるにも、部分的には人を頼ることになります。そうすると、どういう人間関係を築くかによって研究の成果は大きく変わる可能性があります。人間関係がうまくいかないと大事を成し遂げ得ないというのは、人間の本质ではないでしょうか。論文を書く場合でも、人の論文を読み、人と議論し、自分を高め、独創性を発揮するわけです。独創性を発揮するということは、まさしく人間関係そのものと思えるのです。

もちろん学問はそういう側面だけではなく、非常に客観的で、特に自然科学の場合はだれがやっても同じ結果や結論を導き出せるという一種の再現性が重要です。だから、人間関係なんか関係ない、数式を基礎に、厳密な自然観察をして客観的な事実を積み上げていけばよいという考えもあるかもしれませんが、私はそれには与しません。それは一種当然のことですが、その上に積み上がる独創性の大きさこそは人間関係で決まるのだと思うのです。

皆さんが、京都大学の学生として、さらなる高みを目指す気概を持ち、積極的に豊かな人間関係を築

き、既成概念にとらわれない「問い」を自ら発しながら、新たな学問、課題解決への道程を切り開いていかれることを願っています。本学には、約3,000名の教員と2,500名の職員が在職しています。世界有数の研究を日々推進している本学の教授陣は、皆さんの人間関係のネットワークの中で自学自習を助けてくれることでしょう。

最後になりましたが、ここに入学を迎えた方々の中には、大きな能力や資質を持っていて、まだそれを明確に自覚していない人も多いかもしれません。自分の才能を見つけることも学問を志す人にとって大きな発見の一つです。教育は、その人の持っている能力を最大限に引き出すものでなければなりません。京都大学が皆さんの能力を引き出す場であってほしいと願っています。また本学には、大学院を中心にして1,400名におよぶ留学生や多くの海外からの研究者も在籍しています。世界有数の大学との学生交流協定も数多く締結していますので、世界的な視野からの学修も拓けてほしいと思います。

私は、人生を樹に例えることができると 생각합니다。大樹が育つには、肥沃な大地が必要です。土壌を富ますことなく、外見のみを整え、栄養を与えるだけでは、大樹は育ちません。大学という大地を肥沃にする努力は役員も教職員も懸命にいたしますが、自らも大きな根を伸ばすことによって、その大地を耕し、さらに肥沃な大地になるよう貢献してほしいと思います。そのためには、専門分野のみに力を注ぐのではなく、あらゆる場面において独創性、適応性、柔軟性を発揮できるよう、人間力も豊かなものとしなければなりません。これからの社会は大きな視野と柔軟な考え方、難問に対する挑戦力を備えたリーダーを必要としています。単に学修・研究領域の専門に留まらず、これまで以上に皆さんが自身を広く、深く耕していただきたいと思います。皆さんが、京都大学の学生として、さらなる高みを目指す気概を持ち、既成概念にとらわれない「問い」を自ら発しながら、新たな学問、課題解決への道程を切り開くと同時に自分自身の価値を高めていかれることを願っています。

京都大学の豊富な学術資源を活用し、さらなる研鑽に努めるとともに、こころも体も鍛え、皆さんが元気に活躍されることを願い、私のお祝いの言葉といたします。

大学院入学、誠にめでとうございます。



## 大学の動き

### 平成21年度学部入学式

4月7日(火)午前9時30分から、京都市勧業館みやこめっせにおいて、井村裕夫元総長、尾池和夫前総長、名誉教授をはじめ各副学長、各部局長等の出席のもとに平成21年度学部入学式が挙行された。

京都大学交響楽団演奏、合唱団による学歌斉唱に

続いて、総長の式辞があり、午前10時5分に終了した。

今年度の新入生数は次のとおりである。

なお、今年度は、入学式会場をこれまでの吉田キャンパス総合体育館から、京都市勧業館みやこめっせに変更した。

区 分 学 部	一般入試 (前 期)	外国学校 出身者選抜	外国人留学生 特別選抜	編 入 学	再 入 学	転 入 学	学士入学	合 計
総合人間学部	124 <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	2 <sup>人</sup>	126 <sup>人</sup>
文 学 部	222	—	1	—	1	—	3	227
教 育 学 部	61	—	—	6	—	—	—	67
法 学 部	327	9	1	8	—	—	—	345
経 済 学 部	238	6	9	12	—	—	—	265
理 学 部	316	—	—	—	—	—	—	316
医 学 部	258	—	—	1	—	—	—	259
薬 学 部	83	—	—	—	—	—	—	83
工 学 部	967	—	22	13	—	—	—	1,002
農 学 部	316	—	—	—	—	—	—	316
合 計	2,912	15	33	40	1	—	5	3,006



(教育推進部)

## 平成21年度大学院入学式

4月7日(火)午後2時から、京都市勧業館みやこめっせにおいて、尾池和夫前総長、名誉教授をはじめ各副学長、各部局長等の出席のもとに平成21年度大学院入学式が挙行された。

京都大学交響楽団演奏、合唱団による学歌斉唱に続

いて、総長の式辞があり、午後2時25分に終了した。

今年度の新入生数は次のとおりである。

なお、今年度は、入学式会場をこれまでの吉田キャンパス総合体育館から、京都市勧業館みやこめっせに変更した。

平成21年度修士課程入学者数

区 分 研究科	入学	修 士 課 程		合計
		外国人留学生 国費	私費他	
文 学 研 究 科	90 <sup>人</sup>	3 <sup>人</sup>	9 <sup>人</sup>	102 <sup>人</sup>
教育学研究科	36	1	4	41
法 学 研 究 科	5	2	8	15
経済学研究科	29	6	1	36
理 学 研 究 科	308	1	2	311
医 学 研 究 科	72	—	2	74
薬 学 研 究 科	80	4	2	86
工 学 研 究 科	656	12	25	693
農 学 研 究 科	292	1	12	305
人間・環境学研究科	139	3	23	165
エネルギー科学研究科	110	2	5	117
情報学研究科	179	1	2	182
生命科学研究科	76	4	—	80
地球環境学舎	34	2	7	43
合 計	2,106	42	102	2,250

平成21年度修士課程(専門職)入学者数

区 分 研究科	専門職学位課程						合計
	入学	外国人留学生		再入学	外国人留学生		
		国費	私費他		国費	私費他	
法 学 研 究 科	206 <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	3 <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	209 <sup>人</sup>
医 学 研 究 科	27	—	1	—	—	—	28
公共政策教育部	44	—	5	—	—	—	49
経営管理教育部	66	—	—	—	—	—	66
合 計	343	—	6	3	—	—	352

平成21年度博士後期課程入学者数

区 分 研究科	進学	博 士 後 期 課 程											合計
		外国人留学生 国費	私費他	編入学	外国人留学生 国費	私費他	再入学	外国人留学生 国費	私費他	転入学	外国人留学生 国費	私費他	
文 学 研 究 科	43 <sup>人</sup>	1 <sup>人</sup>	2 <sup>人</sup>	1 <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	3 <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	50 <sup>人</sup>
教育学研究科	21	—	2	7	—	—	—	—	—	—	—	—	30
法 学 研 究 科	5	—	6	2	—	1	—	—	—	—	—	—	14
経済学研究科	15	5	2	4	—	2	1	—	—	—	—	—	29
理 学 研 究 科	134	1	1	17	2	5	—	—	—	—	—	—	160
医 学 研 究 科	16	1	—	11	—	1	—	—	—	—	—	—	29
薬 学 研 究 科	25	—	2	4	3	1	—	—	—	—	—	—	35
工 学 研 究 科	63	1	9	45	5	11	—	—	—	3	—	—	137
農 学 研 究 科	36	3	1	16	7	5	—	—	—	—	—	—	68
人間・環境学研究科	47	5	6	7	1	5	—	—	—	—	—	—	71
エネルギー科学研究科	7	1	—	5	2	1	—	—	—	—	—	—	16
情報学研究科	13	2	1	19	—	—	—	—	—	—	—	—	35
生命科学研究科	28	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	31
地球環境学舎	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	3
合 計	454	20	32	141	20	37	1	—	—	3	—	—	708



## 平成21年度博士課程(医学専攻)入学者数

区 分 研究科	博 士 課 程									
	入学	外国人留学生		進学	外国人留学生		転入学	外国人留学生		合計
		国費	私費他		国費	私費他		国費	私費他	
医 学 研 究 科	130 <sup>人</sup>	5 <sup>人</sup>	7 <sup>人</sup>	7 <sup>人</sup>	－ <sup>人</sup>	－ <sup>人</sup>	1 <sup>人</sup>	－ <sup>人</sup>	－ <sup>人</sup>	150 <sup>人</sup>
合 計	130	5	7	7	－	－	1	－	－	150

## 平成21年度一貫制博士課程入学者数

区 分 研究科	一 貫 制 博 士 課 程						
	入学	外国人留学生		編入学	外国人留学生		合計
		国費	私費他		国費	私費他	
アジア・アフリカ 地域研究 研究科	27 <sup>人</sup>	1 <sup>人</sup>	－ <sup>人</sup>	3 <sup>人</sup>	2 <sup>人</sup>	3 <sup>人</sup>	36 <sup>人</sup>
合 計	27	1	－	3	2	3	36

## 平成21年度博士課程(3年)入学者数

区 分 研究科		博 士 課 程					
		進学	外国人留学生		編入学	外国人留学生	
		国費	私費他	国費		私費他	
地球環境学舎	2 <sup>人</sup>	1 <sup>人</sup>	－ <sup>人</sup>	1 <sup>人</sup>	2 <sup>人</sup>	3 <sup>人</sup>	9 <sup>人</sup>
合 計	2	1	－	1	2	3	9



(教育推進部)

## 平成21年度入学者選抜学力試験（第2次学力検査）の結果

平成21年度入学者選抜学力試験(第2次学力検査)は、2月25日(水)・26日(木)および27日(金)に実施した。  
学部別の受験者数、合格者数および入学者数等は次表のとおりである。

(平成21年4月1日現在)

学 部	募集人員 (A)	志願者数 (B)	倍率 (B/A)	第1段階 選抜合格者数	受験者数 (C)	倍率 (C/A)	欠席者数	欠席率	合格者数	辞退者数	追加合 格者数	入学者数
総合人間学部	120 <sup>人</sup>											
前期 文系	65	330	5.1	306	305	4.7	1	0.3	68	1	—	124
前期 理系	55	207	3.8	207	202	3.7	5	2.4	57			
文学部 前期	220	561	2.6	561	558	2.5	3	0.5	223	1	—	222
教育学部	60											
前期 文系	50	189	3.8	189	185	3.7	4	2.1	52	1	—	61
前期 理系	10	36	3.6	36	34	3.4	2	5.6	10			
法学部 前期	320	812	2.5	812	802	2.5	10	1.2	327	—	—	327
経済学部	230											
前期 一般	180	583	3.2	583	574	3.2	9	1.5	190	2	—	238
前期 論文	25	112	4.5	88	84	3.4	4	4.5	25			
前期 理系	25	110	4.4	110	109	4.4	1	0.9	25			
理学部 前期	311	1,003	3.2	987	982	3.2	5	0.5	316	—	—	316
医学部 前期	248	590	2.4	590	579	2.3	11	1.9	260	2	—	258
薬学部 前期	80	244	3.1	244	236	3.0	8	3.3	84	1	—	83
工学部 前期	955	2,388	2.5	2,388	2,352	2.5	36	1.5	973	7	1	967
農学部 前期	300	826	2.8	826	811	2.7	15	1.8	317	1	—	316
計	2,844	7,991	2.8	7,927	7,813	2.7	114	1.4	2,927	16	1	2,912

〔外国学校出身者のための選考の実施結果（外数）〕

学 部	募集人員 (A)	志願者数 (B)	倍率 (B/A)	第1段階 選抜合格者数	受験者数 (C)	倍率 (C/A)	欠席者数	欠席率	合格者数	辞退者数	入学者数
法 学 部	10 <sup>人(以内)</sup>	25 <sup>人</sup>	2.5	18 <sup>人</sup>	11 <sup>人</sup>	1.1	7 <sup>人</sup>	38.9 <sup>%</sup>	9 <sup>人</sup>	— <sup>人</sup>	9 <sup>人</sup>
経 済 学 部	10	28	2.8	15	11	1.1	4	26.7	6	—	6

(注) 受験者数・欠席率は最終教科のものである。

(学生部)

## 名誉教授称号授与式

4月6日(月)午前11時から、百周年時計台記念館において、理事・副学長、部局長等の出席のもとに名誉教授称号授与式が挙行された。

称号を授与された方は、次の56名である。



(氏 名)	(推 薦 部 局)	(氏 名)	(推 薦 部 局)
香 山 晃	(エネルギー理工学研究所)	栗 倉 泰 弘	(工 学 研 究 科)
小 山 勝 二	(理 学 研 究 科)	曾布川 寛	(人 文 科 学 研 究 所)
吉 村 允 孝	(工 学 研 究 科)	福 田 善 弘	(医 学 研 究 科)
笹 田 昌 孝	(医 学 研 究 科)	清 水 昌	(農 学 研 究 科)
中 原 勝	(化 学 研 究 所)	錦 織 成 史	(法 学 研 究 科)
小久見 善 八	(工 学 研 究 科)	河 上 倫 逸	(法 学 研 究 科)
牧 野 圭 祐	(エネルギー理工学研究所)	中 畑 龍 俊	(医 学 研 究 科)
近 藤 克 己	(エネルギー科学研究科)	島 田 真 杉	(人間・環境学研究科)
矢 澤 進	(農 学 研 究 科)	三 上 章 允	(霊 長 類 研 究 所)
佐 藤 矩 行	(理 学 研 究 科)	山 中 一 郎	(総 合 博 物 館)
林 基 治	(霊 長 類 研 究 所)	林 拓 二	(医 学 研 究 科)
芝 池 義 一	(法 学 研 究 科)	中 坪 文 明	(農 学 研 究 科)
山 本 裕 美	(経 済 学 研 究 科)	富 田 眞 治	(情 報 学 研 究 科)
西 村 周 三	(経 済 学 研 究 科)	宗 本 順 三	(工 学 研 究 科)
青 山 安 宏	(工 学 研 究 科)	小 林 道 夫	(文 学 研 究 科)
高 橋 義 人	(人間・環境学研究科)	橘 邦 英	(工 学 研 究 科)
吉 田 治 典	(工 学 研 究 科)	片 山 一 道	(理 学 研 究 科)
梅 田 幹 雄	(農 学 研 究 科)	伊 藤 良 子	(教 育 学 研 究 科)
上 野 健 爾	(理 学 研 究 科)	山 田 誠	(人間・環境学研究科)
内 山 卓	(医 学 研 究 科)	萩 原 良 巳	(防 災 研 究 所)
内 山 巖 雄	(工 学 研 究 科)	三 島 嘉一郎	(原 子 炉 実 験 所)
石 川 順 三	(工 学 研 究 科)	村 中 重 利	(人間・環境学研究科)
金 澤 正 憲	(学術情報メディアセンター)	吉 岡 一 男	(法 学 研 究 科)
吉 川 暹	(エネルギー理工学研究所)	大 西 有 三	(工 学 研 究 科)
井 上 一 朗	(工 学 研 究 科)	際 本 泰 士	(人間・環境学研究科)
河 田 恵 昭	(防 災 研 究 所)	江 川 隆 子	(医 学 研 究 科)
森 本 滋	(法 学 研 究 科)	塩 田 浩 平	(医 学 研 究 科)
徳 田 和 幸	(法 学 研 究 科)	福 島 雅 典	(医学部附属病院)

(総務部)